

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 浜田市立波佐小学校 ～

1.概要

7月1日(水)に心に残る文化財子ども塾『浜田・波佐地区の歴史と土器づくり』を実施しました。目標に「①浜田市や波佐地区の遺跡に詳しくなろう、②土器づくりを通して、古代の技術を体験しよう」を挙げました。

はじめに浜田市内や波佐地区の遺跡を紹介しました。特に波佐地区にある4世紀の古墳である千年比丘1号墳を紹介すると、驚きの声が上がりました。

次に縄文土器や弥生土器に触れてみました。弥生土器は浜田市内の遺跡から出土したものです。はじめは恐る恐る触れていました。その後互いに土器の感想を発表してもらいました。

そしていよいよ土器づくりを始めました。はじめに底部を作ってから、粘土紐を積み上げて土器の形を作りました。最後に施文具で土器に文様をつけて完成です。

2. 活動の様子



浜田市の遺跡や古墳を説明



縄文土器や弥生土器に触れました



土器の底の部分から輪積みでつくる



土器の口縁部に粘土を貼る



土器の内側を丁寧に調整しています

3.子ども塾を終えて

1.児童の皆さんから

- ・縄文土器と弥生土器を見たり、自分だけの土器を作ることが楽しかった。
- ・波佐にも古墳があることが分かった
- ・初めての土器づくりでしたが、昔の人があんなに難しいことを機械も無しに作ったことに興奮しました。
- ・昔の人はこんなに苦労していたんだな、こんな工夫をしていたんだな、ということが心に残りました。
- ・大変でしたが、昔の人の苦労がわかった。

【もっと知りたいことは？】

- ・米作りや狩りをしていった道具を作ってみたい。
- ・埴輪の意味を知りたいので埴輪づくりをしてみたい。
- ・勾玉づくり
- ・浜田以外の有名な古墳をもっと知りたい。

2.担任の先生から

縄文・弥生時代の人々の暮らしについて学習したことを、体験を通して知ることができました。また、土器づくりの地道な作業や細やかな技術のすごさに気づくこともできました。さらに、古墳が身近な地域に存在することがわかり、歴史を身近に感じることができました。

子供たちが浜田市の歴史を知って「すごい！」と驚いたり、実際に体験する中で「すごく楽しい！」「昔ってすごい！」などの言葉を聞いたりすることができ、楽しみながら取り組みました。

3.埋文センターから

浜田市内の遺跡や古墳の説明に、とても興味をもって学んでいました。また、土器を作る際に土器の内面に模様を描いたり波状口縁の土器を作るほか、丁寧に輪積みで土器を作り上げるのを見て、そのデザインのユニークさや丁寧さに感銘を受けました。